

祝

世界遺産登録

特集

「神宿る島」 宗像・沖ノ島と 関連遺産群

この7月、わが国の21番目の世界遺産に登録された

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群。

ユネスコの諮問機関イコモスの勧告で除外されていた資産を含め、
8構成資産全ての登録が決まり、日本中が歓喜に
包まれたのも記憶に新しいことでしょう。

そんな注目を集める遺産群を、

この秋、地元ボランティアガイドと一緒に

楽しく巡ってみませんか。

宗像大社 沖津宮

島全体がご神体の「沖ノ島」

宗像市神湊のおよそ60km沖に浮かぶ沖ノ島。この周囲4kmの絶海の孤島は、日本が大陸との交流を通じて、豊かな文化を育んだ歴史と今に続く信仰を伝えていきます。沖ノ島では、ヤマト王権が朝鮮半島との関係を深める4世紀後半から、遣唐使が停止された9世紀末頃までの約500年間にわたり、航海の安全を願う国家祭祀が行われました。その間、数々の奉獻品が奉納され、出土した奉獻品約8万点は一括して国宝の指定を受けており、沖ノ島は「海の正倉院」とも呼ばれています。

現在、沖ノ島は田心姫神が鎮座する宗像大社の沖津宮として、神職が日々祈りを捧げています。今回、世界遺産となった、小屋島、御門柱、天狗岩は、沖ノ島の南東約1kmにある岩礁で、海上の鳥居の役目を果たしています。

沖ノ島は島全体がご神体で、これまで数々の禁忌によって守られてきました。一木一草一石たりとも島外へ持ち出さない。島で見聞きしたことは口外しない。神職以外の入島はできず、神職が入島する場合でも必ず海中で禊（みそぎ）を行い体を清めるなどの禁忌は世界遺産に登録された現在も、そしてこれからも変わりません。

宗像大社 中津宮

「神守る島」大島を歩く

宗像大社の中津宮がある大島には、沖ノ島をはるか洋上に望む沖津宮遙拝所も置かれています。今回、地元「宗像歴史観光ボランティアの会」会長・船村浩由さんに、大島を案内していただきました。

大島港から歩いて5分の地にある中津宮は、宗像三女神の次女神である湍津姫神が祭られています。七夕伝説とのゆかりも深い境内には、三女神神話にちなんだ「天真名井」と呼ばれる霊泉があり、冷たい水が湧き出ています。

次に向かったのは、大島の最高峰、標高224mの御嶽山。中津宮の奥宮である御嶽神社が鎮座しています。この周辺からは沖ノ島の奉獻品と同じ、奈良三彩の小壺や滑石で作られた形代などが出土。船村さんは「沖ノ島と同様の祭祀が行われていた」と話します。

そこから、島の北側にある沖津宮遙拝所に向かいます。「古い絵図によれば、少なくとも江戸時代には遙拝所がありました」と、船村さん。運がよければ晴天の日、とくに空気の澄んだ秋から冬にかけて、約50km先の洋上に浮かぶ沖ノ島を見ることができま



5.中津宮社殿／海を隔てて、九州本土の辺津宮と向かい合うように本殿が立つ 6.7.沖津宮遙拝所／遠く離れた沖ノ島に対する神事を恒常的に行うため、江戸時代にこの地に遙拝所が設けられた 8.御嶽神社／中津宮の奥宮とされ、この周辺の古代祭祀場が中津宮の起源であることが分かる

1.沖津宮社殿／「お言わず様」とされた沖ノ島には記録が少なく、17世紀ようやく社殿が記録に現れる 2.沖ノ島／東西約1km、南北約0.5km、周囲約4kmの無人島。全島が宗像大社の境内地である。日本と朝鮮半島を結ぶ最短距離の線上に位置する 3.岩上祭祀遺跡／調査によって、石で組んだ祭壇が発見された 4.露天祭祀遺跡／8世紀から9世紀にかけて祭祀が行われた。まだ奉獻品が残っているのが分かる



↑金製指輪(国宝)
←三角縁神鏡(国宝)
※共に「宗像大社神宝館」所蔵



ボランティアガイドの船村浩由さん

宗像歴史観光ボランティアの会

「2006年5月に発足し、現在の会員は90名と、県内ボランティアガイド団体のうち2～3番目の会員数を誇ります。宗像市はベッドタウンとして発展し、地元の歴史を知らないという人も多し。そこで宗像市についてもっと知ってもらおうと、講座を開設したことがきっかけとなり、ボランティア団体として発足しました。ガイドは宗像市内を中心に毎日対応しています。世界遺産の決定を受けてから、今年は去年の3～4倍もの依頼があります」

申し込み・問い合わせ／宗像観光協会 ☎0940-62-3811 ファクス0940-62-3821
宗像歴史観光ボランティアの会 [http://mrkv.lolipop.jp/kanbora.html]

宗像大社 辺津宮

宗像大社の 総社「辺津宮」を巡る

沖ノ島にある沖津宮(田心姫神)、大島の中津宮(湍津姫神)、九州本土にある辺津宮(市杵島姫神)の宗像三女神を祭る三宮をもつて、宗像大社といえます。辺津宮は、その宗像大社の総社です。こちらにも、「宗像歴史観光ボランティアの会」の船村さんに案内していただきました。「一の鳥居、二の鳥居をくぐると、心字池、右手に神職が祭祀の準備をする齋館、左手に勅使館が見えます。正面が拝殿と本殿ですね。本殿を囲むように並ぶのが108の産土神を祭る境内末社です」

参拝を済ませ、本殿の横にあるご神木の榎の木陰で一休みしました。樹齢550年を超える大木で、宗像大社の神紋は、この榎の葉の形になっています。船村さんは、拝殿の脇に立つ灯籠を指しながら、奇進したのは宗像の鶏卵問屋だと語ります。江戸時代の宗像は鶏卵の一大産地。「宗像のすき焼きが鶏すきなのはそのためなんです」。こういう地元ガイドならではの豆知識も楽しみの一つ。

新原・奴山古墳群

宗像一族が眠る 新原・奴山古墳群

海に向かって一直線に並ぶ古墳群。その先の洋上には大島が見えます。「なぜ、ここが世界遺産に選ばれたのか。この風景が全てを物語っています」。そう語るのはふくつ観光協会ボランティアガイド・福津いさば会の永松春一さんです。

新原・奴山古墳群は、玄界灘の海の道を縦横無尽に奔り、沖ノ島祭祀を担った古代豪族・宗像氏が5世紀から6世紀にかけて築いた墳墓群です。かつての入海に向けて築いた墳墓群です。かつての入海に向けて築いた墳墓群です。かつての入海に向けて築いた墳墓群です。

はるか大島や沖ノ島へ続く海を意識して古墳群を築いた宗像氏。新原・奴山古墳群は、朝鮮半島へ向かう海路を往来する中で信仰の伝統を築いた海の民の誇りを感じさせます。



ボランティアガイドの永松春一さん(左)と大久保敏夫さん

ふくつ観光協会 ボランティアガイド (福津いさば会)

「現在、養成講座を受けた約35名がガイド登録をしています。7月に世界遺産に登録されてから、毎日、10時から17時の間、新原・奴山古墳群の展望所に交代で詰めています。おかげさまで、多くの見学者に訪れていただいています」
申し込み・問い合わせ/ふくつ観光協会
☎0940-42-9988
ファクス0940-42-9989



高宮祭場
この周辺では、古代から沖ノ島と同様の祭祀が行われていたことが分かっている。

本殿の横からうっそうとした木々の間を抜けていくと、宗像三女神の降臨の地とされる高宮祭場があります。「最近、パワースポットとして人気です」と、船村さん。秋季大祭の最終日には、この場所ので巫女が神楽舞を奉納する幻想的な「高宮神奈備祭」が催されます。

宗像大社秋季大祭

みあれ祭 平成29年10月1日(日)

みあれとは“神が誕生する”こと。年に一度、宗像三女神が一堂に会するお祭りです。漁船に乗せられた田心姫神・湍津姫神の神輿は、大島から地島沖を通り、神湊に向かいます。



高宮神奈備祭 平成29年10月3日(火)

秋季大祭を締めくくる祭典。みあれ祭でお迎えした宗像三女神に感謝をささげます。静かに、かつ力強い巫女たちの舞は、観客を太古へといざなうかのようです。



宗像大社 神宝館

沖ノ島の国宝8万点を収蔵

古代から現代まで連続と続く、宗像三女神への崇敬に関わる神宝や資料、文化財を収蔵、展示しています。収蔵品の中心は沖ノ島の神宝の数々。学術調査では約8万点もの奉獻品(一括して国宝)が出土し、その一部を展示しています。

宗像市田島2331番地
☎0940-62-1311
ファクス0940-62-1315
開館時間:9時~16時30分
休館日:年中無休
拝観料:一般800円、高大生500円、
小中生400円(割引料金あり)



辺津宮

柿葺きの本殿は大宮司 宗像氏貞が、天正6年(1578)に再建。拝殿は、戦国時代に一時、筑前を治めていた小早川隆景が天正18年(1590)に再建した。



もっと! 世界遺産を感じるスポット

[大島交流館]

大島に伝わる有形無形の歴史や文化を学んだり、大島の観光情報を収集できるスポットです。大島の世界遺産を紹介する施設として、3面シアターなどを用い、『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群の価値を大島を中心に紹介しています。



宗像市大島901-4
☎/ファクス0940-72-2797
開館時間:10時~16時
休館日:火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
入館料:無料

[海の道むなかた館]

宗像の歴史を楽しみながら学び、体感できる施設です。「海の道」をテーマにした常設展示室をはじめ、勾玉づくりなどの体験学習室があります。また、上陸できない沖ノ島や古代の歴史アニメーションを3Dで楽しめる3Dシアターがあります。



宗像市深田588番地
☎0940-62-2600 ファクス0940-62-2601
開館時間:9時~18時
休館日:月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
入館料:無料

[九州オルレ 宗像・大島コース]

オルレとは、自然を五感で感じながら楽しむトレッキングコースのことです。宗像・大島コースは県内で最初に設けられたオルレです。11.5kmのコース中には、中津宮や沖津宮遙拝所などの世界遺産が含まれるほか、島内で一番ロケーションがよい風車展望所や砲台跡へも向かいます。



福岡県観光情報クロスロードふくおか <http://www.crossroadfukuoka.jp>

[カメリアステージ歴史資料館]

福津市内から出土した文化財や歴史資料を展示し、市内の歴史を紹介する施設です。新原・奴山古墳群についての展示もあり、遺産群の価値を知る上で見逃せません。



福津市津屋崎1-7-2
☎0940-72-1207 ファクス0940-72-1210
開館時間:11時~21時
休館日:火曜日(祝日の場合はその翌日)、毎月最終水曜日、年末年始
入館料:無料